

大東亞戰爭

功績調査資料級

海軍功績調査部

昭和五年五月 防衛研究所 戦史室 貼付

昭和十九年一月 至昭和二十年十二月

先遣部隊戦闘詳報

戦時日誌

昭和十九年一月 至昭和二十年十二月

昭和五年五月 防衛研究所 戦史室 貼付

至自 年 年 月 月 日 日	至自 年 年 月 月 日 日	至自 年 年 月 月 日 日	至自 年 年 月 月 日 日	至自 年 年 月 月 日 日	至自 年 年 月 月 日 日	至自 十六年 年 年 月 月 日 日 三十一日	至自 十六年 年 年 月 月 日 日 三十一日	功 績 考 査 簿 編 纂 目 次	海 軍 功 績 考 査 部
						戦 時 日 誌 先遣部隊 第一号 布哇米西岸作戦	戦 時 日 誌	横	

8280

1

第六艦隊戦時日誌

第六艦隊機密第二三號
自昭和十七年一月一日
至昭和十七年一月三十一日

第六艦隊司令部
香取部



一 經過
 二 一般情勢
 三 敵軍情勢
 四 任務編制
 五 作戰指導
 六 人員配備
 七 司令部職員
 八 麾下總人員
 九 傳達報告等
 十 參考
 十一 麾下艦艇行動
 十二 戰訓
 十三 作戰經過概要

目次

自昭和十七年一月一日第六艦隊戦時日誌

一 経過
二 般情 執力

一月一日オアフ南西約百哩、地兵ニ於テ敵航空母艦
 一隻巡洋艦一乃至二隻駆逐艦数隻ヲ成ル敵部隊
 ノ西進スルヲ發見
 航空母艦ニ對シ龍撃セルモ効果ナク敵ノ制圧ヨリ觸接
 時余ニシテ之ヲ逸ス
 依テ直ニZSUノ大部ヲシテ索敵セルト共ニ米西岸ヨリ
 クエニリシ歸還ノ途ニアル先遣支隊復航監視
 交代ノ為三日クエニリシ發、特攻隊(一部欠)往航ヲ利
 用シ搜索ヲ實施セルモ二日夜伊七オアフ島ノ南方一〇〇

9258 2160 (2160 3114 7500)

方位 60°
270°

ex 1 de 7/14

2160 3114 7500

1540 方位 80° 距離 7500

2
34

渚ノ地矣ニ於テ北航スル敵艦ヲ見セシメテ
 及駆逐艦ニヲ發見(輕巡ニ對シテ龍撃セルモ効果ナシ)
 セルノ外敵情ニ関シ得ル所ナシ
 (四) 2558 六日以後監視配備ニ復歸ス
 (三) 特攻隊(1620欠)オアロ監視配備ニ向テ途上前記ノ如
 ク索敵シアリタル處一月十日伊八潜ハAH中間海
 面ニ於テ Lexington 及大巡一ヲ發見セルヲ以テ令艦ヲレテ極力
 之ガ自跟ニ努カメンムト共ニオアロ監視配備ニアリタル
 2558 ヲレテ急遽搜索セシム十日朝伊八潜ハ再ビAHノ北
 方約百哩ノ地矣ニ於テ敵艦上機ヲ認メタルヲ以テ敵
 21レナル方面ノ出撃ヲ準備ヘル為ニ於テ待機中(2558 58欠)
 及伊八潜ヲ出勤セシム
 伊六潜ノ上日地点ナリキニ於テ Lexington 21ニ於テ
 ヲ發見之ヲ雷撃す

車轉沈セシメタルコト概不確實ナリ

(二)先遣支隊ハ曩ニ一月一日AI附近ニ於テ發見セル空

母ヲ含ム敵部隊ニ對シ其後搜索ヲ續行中伊ニ五

潜ハ八日「マーシエル」東方セ。理附近ニ漂泊中、

ヲ發見之ヲ襲撃撃手沈ス

(ホ)曩ニ通過ノ情報アリタル敵艦船ハ或ハ南方海

域ニ回航セルノ算マルノミナラス前項ノ部隊モ亦

同方面ニ移動ノ疑マリ

奇襲ノ目的ヲ以テ伊ニ。潜ヲ一月三日PQ發南方ニ

急行セシメ同艦ハPage Page (砲撃手) 湾港内ヲ偵察

二十四日PQニ歸着

此ノ間特記スベキ敵情ナシ

(ハ)一月初旬ヨリ「ウエーキ」近海ニ敵潜ニ隻アリトノ情報

(三)

二 基キ附近所在艦船ハ警戒ヲ嚴ニシマリシ處ナリ
 二 一ノ水道附近ニ十七日トトシ水道ノ南一。埋附近
 二 敵潛出沒ス
 右ノ如ク敵ノマシナル方面ニ對スル動靜漸次活潑
 化セリ
 敵軍ノ情勢

初旬ヨリ布哇方面ニ於テ航母ヲ基幹トスル敵ノ小部隊
 蠢動ヲ開始シ中旬以降敵潛水艦ノマシナル方面ニ
 於ケル動靜頓ニ活潑化セリ
 下旬諸情報ヲ綜合シ「マシナル」方面ニ對シ何等カ
 積極的企圖アル事ヲ察知セラルル情勢トナリタリ

先遣部隊						巴分
補給	特別攻撃隊	第三潜水部隊	第二潜水部隊	第一潜水部隊	旗艦	
第六艦隊司令長官						指揮官
	第一潜水戦隊司令官	第三	第二	第一潜水戦隊司令官	直率	
隠戸東亞丸	116 118 120 122 124	第三潜水戦隊	第二潜水戦隊	(116 118 120 122 124)	香取	兵力
補給		偵察	監視	奇襲		任務

(三) 任務編制配備

(1) 軍隊巴分及任務

一月十二日 浦上丸(研附屬)工作艦ヲEBニ附屬
 一月二十五日 日立丸當令ノ間 研長官ノ指揮ヲ受ク

事記	
第二天洋丸(研附屬)研長官指揮	部隊
	各特務艦長 (監督官)
	富山丸 新玉丸 日立丸 第二天洋丸

			直率	戦隊	(四) 編制
355	255	155	木口取	軍艦	
靖玉丸	芝羊丸	平安丸			
119g	75g	15g		隊名	潜
イイ 七五	イイイ 三二一	イイイ 九七六五		艦名	
125g	85g	25g		隊名	水
イイ 六八	イイイ 六五四	イイイ 二九八		艦名	艦
205g		35g		隊名	
イイ 七七 二一	イ 七	イイイ 二二三 三二二		艦名	
		45g		隊名	
イ 八	イ 一〇	イイイ 二二五 四二四		艦名	

一、一月十五日 第十二潜水隊ヨリ 伊七〇ヲ除カル
 一、一月二十五日 日立丸 當分 間 師長官ノ指揮ヲ承ク
 一、一月十二日 工作艦浦上丸 (GF 附屬) EB 二 附屬
 一、一月十五日 第十回眞班 (第六艦隊) ヲオカル (内令八三号)

第六補欠班 (八員) <small>第一補充班 (五員) 准二下〇兵六 第二補充班 (五員) 准二下七兵三 第三補充班 (五員) 准一五兵八 第四補充班 (五員) 准一五兵八</small>	新玉丸	給油	イ 七 〇 イ 七 三
	日立丸	給油	
	東亞丸	給油	
	富士丸	給油	
(指揮)	第二潜水隊	給糧	
附屬			

四作戦指導

第一

敵手沈ニ至ル布哇以西、作戦

一月一日夜、^{Lexisla}ア、島

^{-stad}

監視行動中、^{今島}南西約一〇〇哩、地點

ニ於テ敵航空母艦一隻、巡洋艦一乃至二隻、駆逐艦數隻ヨリ成ル敵

部隊、西進スルニ會シ航空母艦ニ對シ龍衣敷手セルモ効果ナク敵、制圧

ニ依リ接触ヲ失ス

依テ^{SSP}ヲシテ^{Kamui}島、南方乃至南西方海面、索敵ヲ行ハシムルト米西

岸ヨリ^限ニ歸還途上ニ^{先遣}支隊、復航及監視交代、為三日

限發、特別攻撃隊(一部隊)往航ヲ利用シ搜索ヲ實施セリ

然ルニ二日夜、^{索敵}行動中、^{南方}一〇〇哩、地點ニ於テ北航ス

ル敵輕巡(又ハ^{響音}導手駆逐艦)一及^{駆逐艦}ニヲ發見(輕巡ニ對シ龍衣敷手

セルモ効果ナシ)セル外敵情ニ関シ得ル所ナシ

當時、情況ニ於テハ確タル断定ヲ下シ得ルモノニ日夜、^{別方面}ニ於テ

「オアフ」島ニ向フ敵一部隊ヲ發見シタルコト及從來再三布哇近海
 ニ於テ空母ヲ主体トスル兵力ノ出動セルヲ認メタル事實等ニ徴シ三十一日
 (前夜)我潜水艦ガ布哇諸島要地ヲ一斉砲撃手(但照明彈使用)セ
 ルニ對シ附近ニ我が水上部隊アリト誤斷セル一時、出撃手ナル算ナ
 リト思考ス

而シテ^{2.SSB}全部ヲミテ追頭ニ當ラシメ真珠港監視潜水艦ヲ皆無ナラ
 シタルコトハ爾後敵ノ入港スル際之ヲ捕促スルコト能ハサルヲ以テ
 二隻ヲ真珠港監視ニ残シタリ而シテ二日以後大海特情報トシテ
 A側ハ布哇附近輸送船ノ航路指定ヲナシアル旨通知アリ
 依テ其時刻其點ニ殘留潜水艦ヲ派遣セルモ敵ヲ得ズ
 尚即支隊ハクエエリニ歸投途次^{School Bay}攻撃手スバク下令ニアリ
 タル所ヲ索敵ノ為之ヲ取止ム
 此間基地航空機ニ依リ発見セラレタル潜水艦ニ三隻ア

リシモ何レモ被害ナシ
 右ノ情况ニ於テハ前記ノ情况判断ニ於テ最モ公算少キ
 又ハヨマシヤル方面ニ對スル機動ニ就テモ更ニ一應考慮ノ要
 ヲ感シ萬一ニ備ハ當時段ニ歸投休養中ノ及在泊艦ニ
 對シ左記ヲ下令ス

(伊信令第四號 四日一三〇宛伊)

一日「ハワイ」ヨリ西行セル敵機動部隊(空母一巡洋艦ニ逐
 艦數度ハ當方面出現、算ナシトセズ各隊艦ハ五日未明
 以後特ニ對空警戒ヲ嚴ニス可シ
 右信令ニ依リ在泊中ノ特ニ五日六日各未明ヨリ九三〇頃迄
 錨泊沈坐ヲ行ヒ敵、空襲衣ヲ警戒セリ
 此、間當方面所在(ハワイ)北東乃至南東洋上廣ク輕
 圍、飛行哨戒ヲ嚴重ニ行ヒタリ此クテ依然敵情ヲ得ザリシ

カレム
 出現ニ備ハクエニリニ在 355B 急據 出撃手邀 敵手配 備ニ就
 約一。運ノ地點ニ於テ敵艦上機ヲ認メ敵ノヨリシヤル 方面ノ
 斯クシテ直ニ掃艇隊敵ニ移ルルカ十一日朝ハ更ニ北西
 約一。運ノ地點ニ於テ敵艦上機ヲ認メ敵ノヨリシヤル 方面ノ

即チ 下B 電令作第ニナハ号(ナリニ一。)

一 355B (16ノカ) 八海十帯 出未迄第 隊全左ニ依リ 敵出撃手部隊ヲ
 坤坵 敵手滅スル

(1) 十四日黎明時ニ地點ノテチヨリ 地點マキフヨニ至ル 散開線

(2) 散開線ニ至ル 黎明迄ニ地點ノルテヨリ 地點ヤコハヨニ
 至ル 散開線(1) 散開線ニ就キ 爾後 敵ノ地點ニテモ

ヨリ 地點ヲモユヨニ至ル 線ハ線ヲ以テ 州方向 掃艇スベシ

(3) 特令アル迄 他ヨリ 指揮官ノ 指揮下ニ入ル

(4) 即電令作第ニ六號ニ向クキ 時機ハ 特令ス

ニ特攻隊(116機)ハ十二日没時迄ニ敵情ヲ得サレバ 355B 掃

航面ヲ避ケAH方向ニ向ヘ

三EB 覆令作第ニニ號ニ依ル 355B 潜水艦ノAG攻撃ヲ取止ム

255B 八機ノ六機ヲ連圈ニ入ラバ適宜 355B ノ行動海面ヲ南方ニ避ケ

PDニ帰投マシ此ノ際 A 西岸ヨリ帰投中ノ119機ハ敵飛行

機ヲ發見報告シ來ル其ノ位置ニ遊撃手ニ適スルモノト燃料

ノ訃ヲ限リPDノ六機ヲ連圈附近敵ノ前程ニ進出シ之ヲ捕捉

スルニシテ

355B 及116機ハ十二日午後没時前記所定ノ既備ニ向ヒケルモ何等得ル所

ナシ一方索敵行動中ノ 355B 116機ハ十二日午前AG東方約三哩海面

ニ達スルヤ 116機ハ夫夫敵機ノ制圧ヲ受ケケルヲ以テ同

方面ニ敵アルヲ確信第二潜水部隊ハ散開線ヲ以テ

附近ヲ索敵中116機ハ三五一百没後(分)地點ナリテ 21 =

於テ西亦約ニ五、三本ニ *Lexington* 煙突ノ先端ヲ發見急速潜航極
 カ前程進出ニ努ム。同艦ノ前方ニ大巡一隻後方ニ驅
 逐艦二隻又ヲ敬言試配備セルヲ認ム
 一四一(日没後一時間) *Lexington* 對シ襲撃ヲ行、迄夜間替望
 鏡ヲ連續使用セリ
 方位角左六〇度距離四三〇米発射雷數三内ニ本命中
 爆発セルヲ確認其ノ後七分ニシテ更ニ壯重ナルニ大爆発
 音(誘爆ト認ム)ヲ聴取セリ
 一六八右ニ大音響ヲ聴取後以前捕提シマリリル推進器音
 ヲ聞カズ
 三時間ニシテ方上セル際敵影ヲ見ス *Lexington* ヲ輝沈セルコト概
 テ確實ト認ム
 爾後 *SSB* 及特攻隊(一六八)ヲシテ引續キ殘敵ヲ搜索セル

毛手樹ヲ得ル

第二

Langley

撃沈

曩二月一日夜布時南西約一〇。埋地莫ニ於テ發見セル
 空母ヲ含ム敵部隊ニ對シテ未ダ敵情ヲ得ザリシモ先遣
 支隊ハEB電令作第ニ六號ニ依リ散開線ヲ以テ搜索續
 行申一月六日一八三〇地莫ノコフ025ニ於テ偵察機ハ三ニ五度方
 向ニ探照燈ヲ認メ之ニ向ヒテリモ間モナリ之ヲ見失フ
 爾後敵電語ハ三回ニ盤ニ測定方位ニ四〇度ニシテ北方ニ
 移動スルヲ認メ地莫ノ北ニ15ヨリ針路ニ五〇度速力一八
 節ニテ之ニ出會スル也リ行動セルモ同夜之ヲ発見スルニ
 至ラス引續キ散開線ヲ以テ搜索敵行動中翌々八日
 の七一ニ至リ「マーシャル」島東方セリ。注(地莫ノスクリ31)附近ニ漂

泊中ノ
見之ヲ襲撃手撃手沈セリ

Langley 方面ニ盛ニ敵潜ノ電波ヲ屢々感度ニ居タル事實ト

毛關聯シ敵ハ「マーシャル」方面ニ對スル偵察奇襲隊ヲ
劃策シ「リトル」マヌヤト判断ス

第三「ファイビー」及「サモア」方面ノ偵察

曩ニ通過ノ情報マリタル敵艦ハ十二月二十七日頃迄先

遣支隊ヲ以テ之ガ北上ヲ警戒戒セシム敵情ヲ得ズ或ハ南

方海域ニ回航セルノ算アルミナズ前項ノ部隊亦同方

面ニ移動ノ疑マルヲ以テ「Samoa」方面ニ對スル偵察監視

視奇襲ノ目的ヲ以テ差當リ候ヨシテ一月三日「エジプト」

突南方ニ急行セシム

斯クテ八月九日十日「Pago Pago」港内ヲ偵察セルモ敵ヲ見ズ

十日ニニミ。北西方ヨリ間接射撃ヲ以テ Pago Pago 港内ヲ砲撃セシモ効果不明 十三日ヨリ Saue 港南方海面ニ行動港内ノ偵察ヲ行ヒ居タル處 十六日一三〇。港口ニ於テ出スル英特設砲艦(セト噸)ヲ発見之ニ對シ莫雷四本発射セルモ命中セズ

十六日及十八日 Saue 港砲撃ヲ企圖ヲ行動セルモ西日共哨戒艇ノ妨害ヲ受ケ實施セズ十八日一七〇。同地発ニ十四日 PQ = 歸着セリ

第一四 PQ 方面ニ於ケル作戰

一月初旬 Wake 近海ニ敵潛出沒ストノ情報アリ敵潛ノ電波ニ注意シマリタリ一月十日在泊潜水艦(SSSB)ニ方位測定ヲ行ハシメニ隻(内一隻南下ス)近海ニ行動シマルコト概ニ確實ト認メ之ヲ關係ノ向ニ通報シマリタル處 十三日ニ至リ

「ウオツチエ」「カベン」島ニニ七度ニ運ニ一隻(ガラジル丸ニ奥雷攻撃手)
 キ「ヨ」水道ノニ九五度四運ニ一隻(八海山丸ニ雷攻撃手)現レPQ泊
 地ニ於テモ特ニ警戒ヲ嚴ナラシム
 其ノ後尚敵信ニ注意シ居タルニ十五日夜ニ至リ特ニ高感
 度ノ潜水艦電波ヲ感受シ直ニ在泊地(特攻隊欠)潜水艦
 ラシテ方位測定ニセガノシタタル處「ヤルト」測定方位
 トニ依リ敵潜「ウオツチエ」ト「ガキエツプ」中間海面ニ在
 リト判断之ヲ六根司令部ニ通報ス
 然ルニ右潜水艦ハ其ノ後依然「ウオツチエ」附近ニ在リシモノ
 ノ如クナセリ「ト」水道ノ南ニ運附近ニ於テ第六五駆潜
 隊宇治丸ヲ雷攻撃(命中セズ)却テ宇治丸ノ爆雷雷攻撃手
 ニ依リ敵手沈セラル
 此間一月十五日ニ於ケル情況判断ヲ左ノ通第四艦隊参

謀長宛通報ス

十三日來當方面敵潛ノ出現ニ加フルニ昨夜最近距離
 =潜水部隊旗艦ト認ハル敵艦ノ電波ヲ盛ニ感受セ
 ルニ鑑ミ敵ハ當方面ニ對シ何等ノ積極的企圖ヲ有
 スルヤノ疑アリ既ニ考慮セラレツソアルニトハ思考スル
 毛差當リPQ六〇度方向ヲ中心トスル海域ニ對シ飛行
 哨戒ヲ嚴ナラシムル要アリト認ム

第五

撃退後、各部隊行動を作戰指令

16

Langston

攻撃後ハ各部隊ヲシテ左ノ如ク行動セシム

(EB電令作第三三號 十月二〇日)

一、300B (165)

ハ「タケ」島「ロニキリック」島間ヲ通過シEB電令作第三三

號ノ配備ニ就ク如ク行動スベシPT南方ニ敵潛伏在疑アリ

二、110ハ横須賀ニ圍ハ航整備中ニ從事スベシ

三、同艦ニ對スル300B指揮官ノ指揮ヲ解ク

三、18及209ノ航路ハR線ヲ經由スルモトス但ハ進出、途次AKノ

飛行偵察ヲ實施スベシ

四、119ハEB電令作第三九號ノ索敵ヲ止メ第四又ハ第五航路ヲ

經由PQニ歸投スベシ

翌十三日一八。EB電令作第三三號ヲ以テ左記ヲ令セリ

一 2SSB ハ尺線ヲ避ケ PQニ歸投スベシ

二 特攻隊(116 120 欠)ハ速ニ AK 監視配備ニ就ケ同隊ニ對スル 2SSB

指揮官ノ指揮ヲ解リ

其ノ後 EB 電令作第 33 號(十五日ニ一三〇)ヲ以テ

一 2059 ハ二十三日 A1 監視配備ニ就ケ

特攻隊(116 120 欠)ハ同日配備ヲ撤シ横須賀ニ歸投スベシ

二 特攻隊(116 120 欠)ハ歸路指揮官所定ニ依リ左ノ事項ヲ實施スベシ

(1) クレンケッリゲートシヨールニ監視兵及防備ヲ有無並ニ同島附近

ニ於テ潜水艇ノ對飛行艇補給ヲ能ク調査

(2) AF 攻略資料調査及同島ノ攻撃ヲ實施

(三) 169 ハ EB 電令作第 26 號指示任務ノ外 AF 攻略資料ヲ査ベリ

詳細調査及同島ノ攻撃ヲ實施スベシ

34

但シ攻勢ヲ實施ハ特攻隊若水艦ヲ實施以後適宜時機トス

四信及哨ハ指揮官所信ニ依リ適宜行動方面ノ軍事施設砲撃ヲ實施スベシ

五特攻隊(伍隻)ハ横須賀ニ於テ整備ヲ實施シ二月二十日迄ニ

内海西部ニ四航別ニ指示スル處ニ依リ二月末迄訓練ニ從事スベシ

其ノ後一月二十日師參謀長ヨリ師參謀長宛テ電報ヲ接受シ
一 毀撃況其他米國最近ノ動靜ニ鑑ミ尙分更東京方面 Lexington 空襲ノ算減少セルモノト認メラルルヲ以テ第三期ノ

兵力配備ハ左ニ依リ實施ノコトニ取計相成度 AI AF 及 米西岸状況ニ依リ「ハマ」渡洲東岸「カミア」「ライ」方面

ニ尙左ノ事項ヲ實施方取計ハレ度

要領
飛行場

(1) 成シ得レバ 18 ヲシテ *San Francisco* ノ飛行偵察
 (2) 時機ヲ見テ *San Francisco* ノ飛行偵察場及攻略資料
 ノ調査

依テ 18 ヲシテ 眞珠港内 飛行偵察ヲ命シアリタルモ之ヲ取
 止メ *San Francisco* ノ偵察ヲ命ズ

San Francisco (EB電令作第三四號 三月一九四五 突司令官 通司令官) 飛行偵察
 18 ノ飛行偵察ヲ取止メ 西岸ニ直航シ *San Francisco* ノ飛行偵察
 ヲ實施シタル上豫定ノ如ク行動概ニ 三月二日 *San Francisco* 横須賀ニ歸
 着スベシ

其ノ後 三月四日一三三。GP電令第三一號ヲ以テ第三期兵力部署
 ノ發令アリ

三月七日。八。EB電令作第三六號ヲ以テ今後ノ作戰ニ関シ左
 通り下令

12

ISSB (121欠) ハ左ニ依リ行動スベシ

(イ) 117 123 中ノ一艦及 19

二月廿日 PQ 發 AI 監視 奇襲 並ニ交通破壊ニ任スベシ 配備ハ 指揮官所定トス

117 123 中ノ一艦ハ往航時 AG 攻略資料ノ調査及同島ノ砲 撃ヲ實施スベシ 119 ハ監視期間中機ヲ見テ AKノ飛行 偵察ヲ實施スベシ

(ロ) 117 123 中ノ一艦

二月二日 PQ 發 AE 攻略資料ノ調査及同島ノ砲撃ヲ實施ノ 上米西岸ニ行動シ奇襲交通破壊並ニ指揮官所 信ニ依リ要地軍事施設砲撃ヲ實施スベシ

(ハ) 125

二月二日以後準備出来次第 PQ 発濠洲新西蘭方面ニ

355B (168) ハ左ニ依リ行動スベシ

(ホ) 行動後ハ概ネ四日迄ニ横須賀ニ歸投スベシ

大飛トノ聯合訓練ヲ實施ノ上別ニ指示スル處ニ依リ
PQニ於テ飛行艇燃料補給工事及
24時配属ノ十二試

- (一) 115 Wellington
- 119
- 126
- (二) Sydney
- (三) Melbourne
- (四) Auckland
- (五) Hobart

偵察スベキ要地概ネ左ノ如シ
行動シ要地ノ隱密偵察並ニ有力艦船ニ對スル可
襲ニ任スベシ

2059
 八二月五日 AR 監視配備ヲ撤シ爾餘ノ部隊ハ EB 電令作
 第二六號ニ依リ現地發三月三日迄ニ横須賀ニ歸投整備
 ニ從事シ四月二日迄ニ次回行動準備ヲ完成スベシ
 尚右ニ關聯シテ三試大艇ニ對スル潜水艦ノ燃料補給
 ニ關シテ、通リ關係各部ト電報ノ應酬アリ

大浦城密第五。番電十六日一八。宛第六艦隊參謀
 長 通報 GF 參謀長 IS 司令官 發大海二部長

一 115 119 = 對シ 117 123 同様 飛行艇燃料搭載補給施
 設ヲ二月十五日頃迄ニハ PQ = 於テ完成スルヲ目途トシガソリ
 ンタリシ 其他ノ物件並ニ工員二月十日頃 PQ 着豫定ヲ
 以テ輸送ノゴトニ準備中 (以下略)

GF 校密第八一 番電十七日一九一。

A1 = 於ケル敵ノ復舊作業阻止ノ爲ニ月下旬以降 AI

ノ夜間空襲（A1西方島嶼ニ於テ6F潜水艦ヨリ補給）ヲ實現
 施セシメラルル内示見ナルニ付豫メ研究準備シ置リ度
 6F校密第ハニ六番電（二十日一ニヨリ）

究6F參謀長 通報軍務局長 6F參謀長 横廠長

24.5.15.5 司令官

究6F參謀長

當隊次圓行動中潜水艦ハ6F校密第ハニ番電ニ通リ

4.15.11.19.12.12.3.12.6（計八隻）ニ豫定セラレテテリル處

1.19.ハ前圓行動中破壊セラル一番ノカイニシリニ對シ應急修

理ハ儘ナルヲ以テ行動ノ制限ヲ受リ

2.12.1.ハ大海校密第ハニ番電編制換ノ爲一時横須賀ニ歸還

3.11.17.12.3.ハ二月上旬頃 24.5.15.5.ニ配屬豫定ノ大艇ト聯合訓練ヲ

終ル迄「ケエジエリン」ニ殘留ノ要アリ從テ今般11.19.12.5.ニ

14

對シ大海校密第五番電及艦本校密第五番電ノ工事
 フリエジエリシニテ施行ノコトトセバ次回行動ノ前半ハ僅ニ
 旗艦潜水艦タル外似一隻ノミトナリ配備ニ著キ致
 陷ヲ生ズルヲ以テGF校密第八番電ノ大敵ニ對スル補給
 水艦ハ差當リ現ニ設備ヲ有スルハ僅ニ一隻トシ115119
 スル右ノ事ハGF校密第八番電ノ通り次回横須賀ニ在泊時
 施行ノコトト致度

右差支ノ有無至急回示相成度

GF校密第一四番電ニ于日ニ。

宛GF參謀長通報大海一二部長GF參謀長 115119司令官

發GF參謀長

貴校密第八二番電返

大敵ノGF配屬ハ二月中旬頃トナル見込ニ付117113ハ聯合訓

練ヲ取止メ 19 26 小共ニ配備ニ付カシテ 115 119 125 豫定通り
 工事ヲ行ニ 二月中旬終了見込 大艇ト聯合訓練實質
 施ノ上配備ニ就カシメラレタキ意向ナリ
 大海校密第五七ニ番電(二十六日一八三〇)
 宛 GF 参謀長 通報 6F 4F 参謀長 245F 司令官
 宛 大海一部長
 十三試大艇ヲ以テスル AK 攻撃手ニ関シテハ左ノ腹案ニテ準備
 シツツアリ然ルベク配慮ヲ得度
 一 一三月三日頃 實施
 ニニ AFH (French Fugate School) ニテ 補給 (SX2) 配備情況ニ依リ他ニ豫備トシ
 テ配備ス
 三 無線誘導ニ任ズベキ潜水艦 Johnston 附近及情況ニ依リ A1 南西
 方ニ配備ス

7060

33

十三試大艇ハ二月上旬 24sf = 二機 配属ノ豫定

宛 大海一部長

通 報 4 参謀長 24sf 司令官

軍令部四部長

艦本總務部長
艦本三部長

發 6 参謀長

GP機密第一一番電開聯

潜水艦ニ依ル飛行艇燃料補給ニ関シテハ無線會合

ヲ確實ナラシムル要アル處左ノ電波ニ對スル水晶片

潜水艦(長波ノミ)飛行艇共ニ配給方取計ヲ得度

四一四 KC (ヒ六) 及ニ三五七 (ヒ六一) (補用)

六六一 KC (タニ三七) 及ニ五六三 KC (タニ五一) (補用)

追テ會合ハ潜水艦側ニテ長波ヲ輻射スルヲ建前トス

艦校 工 126

空

ハ

四 飛行艇ハ出発前補給艦及ナシ得レハ誘導潜水艦トノ
訓練ノ爲ニ二月十三日頃迄一校他ノ一校ハ準備出来次第
二月二十日頃迄ニ「ウオッチエ」ニ空輸ス

五 補給潜水艦ニハ整備員一乃至二名ヲ隻艦セシム
(諜備補給施設ニハ出港日時ノ関係ニ依リテハ横浜航空
隊整備員ヲ充ツ)

6 下校密第ハ六六番電(三七日一八三〇)
宛 4 師参謀長 通報 師参謀長 24 師司令官
宛 6 師参謀長

大艦ニ依ル AK 攻撃手作戦ニ協力ノ補給潜水艦ハ 115 119 126
ヲ充當スルモノトシ右潜水艦ハ令般 PQ 於テ燃料補給工
事ヲ施行シ二月十八日頃完成ノ豫定一才本作戦ヲ大海校
密第五七ニ番電ノ如ク三月三日頃實施セントセバ潜水艦

ハ遅クモ二月二十三日頃ニハ配備地莫ニ向ヒ出資スルヲ要シ
餘日甚ダ少ナキヲ以テ潜水艦補給施設ノ事ヲ完成ス
第即時聯合訓練ノ要アリ

香取ハ用務ノ爲ニ月十日頃PG発一時内地ニ回航豫定
ニ付右以前PGニ於テ然ルベキ代表者ヲシテ當司令部ト
作戰ヲ聯合訓練ニ関スル研究打合ヲ實施スコト取
計ヲ得度

GF校密第一回三番電ハ三十一日()

宛 GF 参謀長 通報 245F 司令官 大海一部長

祭 GF 参謀長

大海校密第五七ニ番電ニ依ル AK 攻撃手ハ4F 協同トシ
テ實施セシラルル内意ニ付 245F 及 4F 航空主務参謀ヲ6F
司令部ニ派遣シ聯合訓練並ニ作戰ニ関シ研究打合也

實施セシラレ度尚濠洲方面ノ作戰(EP電令作第5號)

ニ関シテハ右ノ通り電報ノ應酬アリタリ

大海校密第519番電(平日一三三〇)

宛G師參謀長 通報G師參謀長

宛大海參謀部一部長 大海校密第414番電第518

番電ニ関聯新西蘭方面ニ相當有カナル部隊増派算

モアリ新編制豫定、潜水戰隊進送ニ先立テ新西蘭及

出采得レハ濠洲方面ノ隱密偵察ニ関シ研究ヲ得度

G師校密第112番電(平日一七三〇)

宛G師參謀長 通報大海一部長

宛G師參謀長

大海校密第519番電ニ依ル濠洲方面ノ隱密偵察

察後宜實施セシラレ度之ガ爲AI又ハA師方面ノ兵力

配備ハ一時変更セラレ差支ナキ内意ナリ

第九 AFH (French Frigate) AF (Midway) 偵察

一 AFH 偵察

潜水艦ヲ以テスル十三試飛行燃料補給ニ関聯シ之ガ
實施ニ適高ト認メラルル AFHニ對シ EB 電令作第三三號ノ通
特攻隊ノ一部兵力ヲシテ之ガ偵察ヲ行ハシメタリ

之ガ報告友通リニシテ概ネ利用シ得ルヲ確メ得タリ
宛 EB 1SSB 指揮官 突 3SSB 司令 (三十三三三)

偵察 AFH (French Frigate) 偵察狀況 一月二十四日ヨリ二時開始
巨リ概ネ艦ノ四周ヨリ偵察セリ

(last) 小建築物ヲ飛行機ノ不時着等ニ使用セル
モノノ如キモ最近使用セシ形跡ナリ監視人ヲ認メズ又防備

17

施設ナシ

(ロ) 礁ハ概ネ長浪ヲ遮蔽シ得ルモ波浪ニ對シテハ遮蔽充分ナラズ

礁ノ西側ハ偏西風大ナラザル限リ潜水艦ハ對飛行般

補給可能ト認ム但シ深小ニシテ避退潜航困難ナリ

(ハ) La *recherche* Pomade ハ晝間一五漣ヨリ発見シ得リ夜間近接ハ困難

ナリト認ム

各島ノ海面上關係位置ニ誤差マルモノ如ク正確ナル艦

位測定シ難シ

(ニ) 六。及。八。敵哨戒機ヲ認め一時避退潜航ス

尚右ハGF長官ニ報告スルト共ニ中央4師等ニ通報ス

ニ AFノ偵察

EB電令作第三三號ニ依ル AFノ攻略資料調査及同島ノ

攻撃手ハ18 124ヲ以テ二十六日迄ニ之ヲ實施之ガ成ルヲGF長

18

官ニ報告セリ

宛 師長官 通報 1SS 2SS 3SS 司令官 3SS 司令

EB 戦闘概報第八號 (二十八日。八。)

一月二十六日 118 124 AF 偵察攻撃手状況

(1) 偵察状況

(一) AFB (Sand) 陸上施設ハ完備同ノ北半ハ各種建物櫛比

北東部ニ永上校格網庫五棟 廳舎等高地南方ニ陸

上校格網庫同所屬物及油槽三 不精五高地西方ニ無

線電信柱三 東方及南方海岸ニ砲臺ラシキモノ多数及

探照燈ヲ認ム

(二) AFD (陸上施設) 工事中

同島南方ニ米界外防材及機雷敷設ナシ

(三) AFB 北東頭地ニ物件揚陸中。噸級商船一隻後探

船一隻ヲ認め

(四) 日出後二時間前飛行機ハ発進及晝間飛行機哨戒

ヲ認め

(ロ) 攻撃状況

八日没時AFBノ南東側ヨリ砲撃一部軍事施設ヲ破壊

ス発砲後二分ニシテ及撃手ヲ受ケ避退潜航ス

八日没三十五分後浮上初弾発砲前既ニ及撃手ヲ受ケ

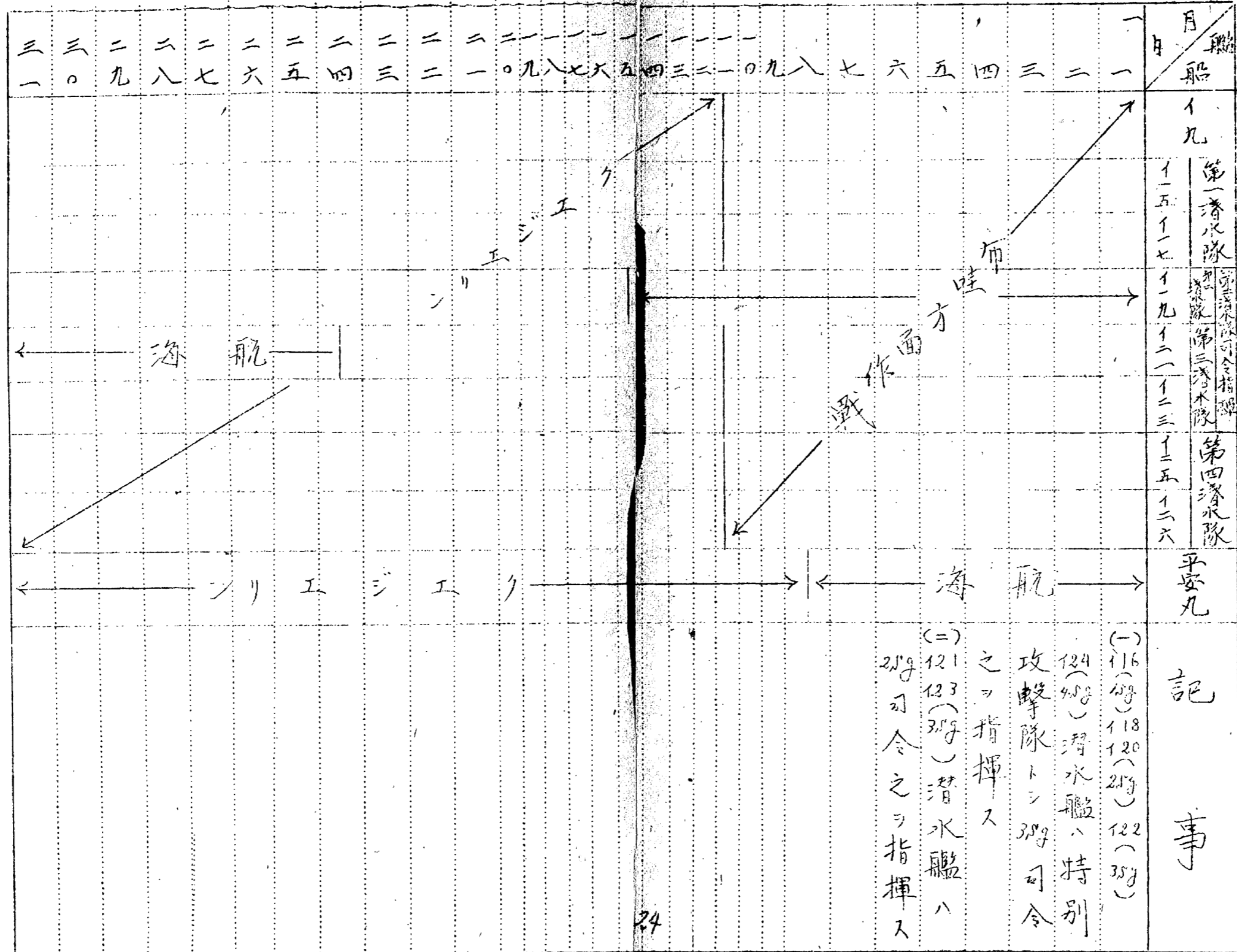
避退潜航ス

(ハ) AF配備ノ69ヲ引續キ偵察ヲ續行セシム

三 一	三 〇	二 九	二 八	二 七	二 六	二 五	二 四	二 三	二 二	二 一	一 〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一																
←											ン	リ	エ	ジ	エ	ク	→																			
横須賀	←				海	航	→				←	ン	リ	エ	ジ	エ	ク	→																		
←											ン	リ	エ	ジ	エ	ク	→				横須賀															
官長司令部 夕承ヲ揮指ノ											←										吳	→														
←											ン	リ	エ	ジ	エ	ク	→																			
←											吳										→															
←											(トールヤイサク)										ン	リ	エ	ジ	エ	ク	→									
←					海	航	→					←					保	世	佐	→																
																				←					保	世	佐	→								

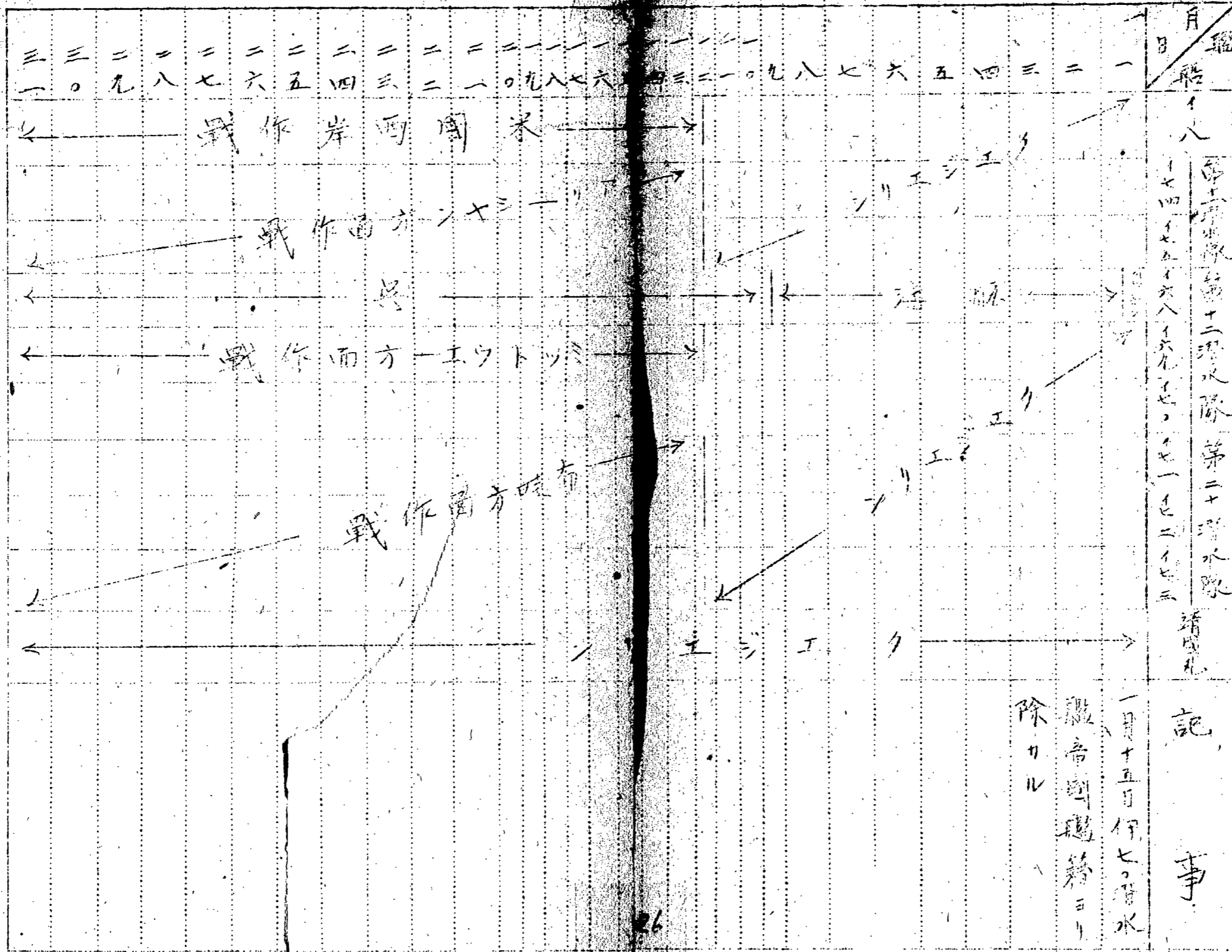
月
日
船
香
取
隱
戸
新
玉
丸
日
立
丸
東
電
丸
富
山
丸
天
洋
丸
浦
上
丸
記
事

一) 参考
艦下艦船ノ行動(香取及浦上部隊)



(一) 麾下艦船行動(第一潜水部隊)

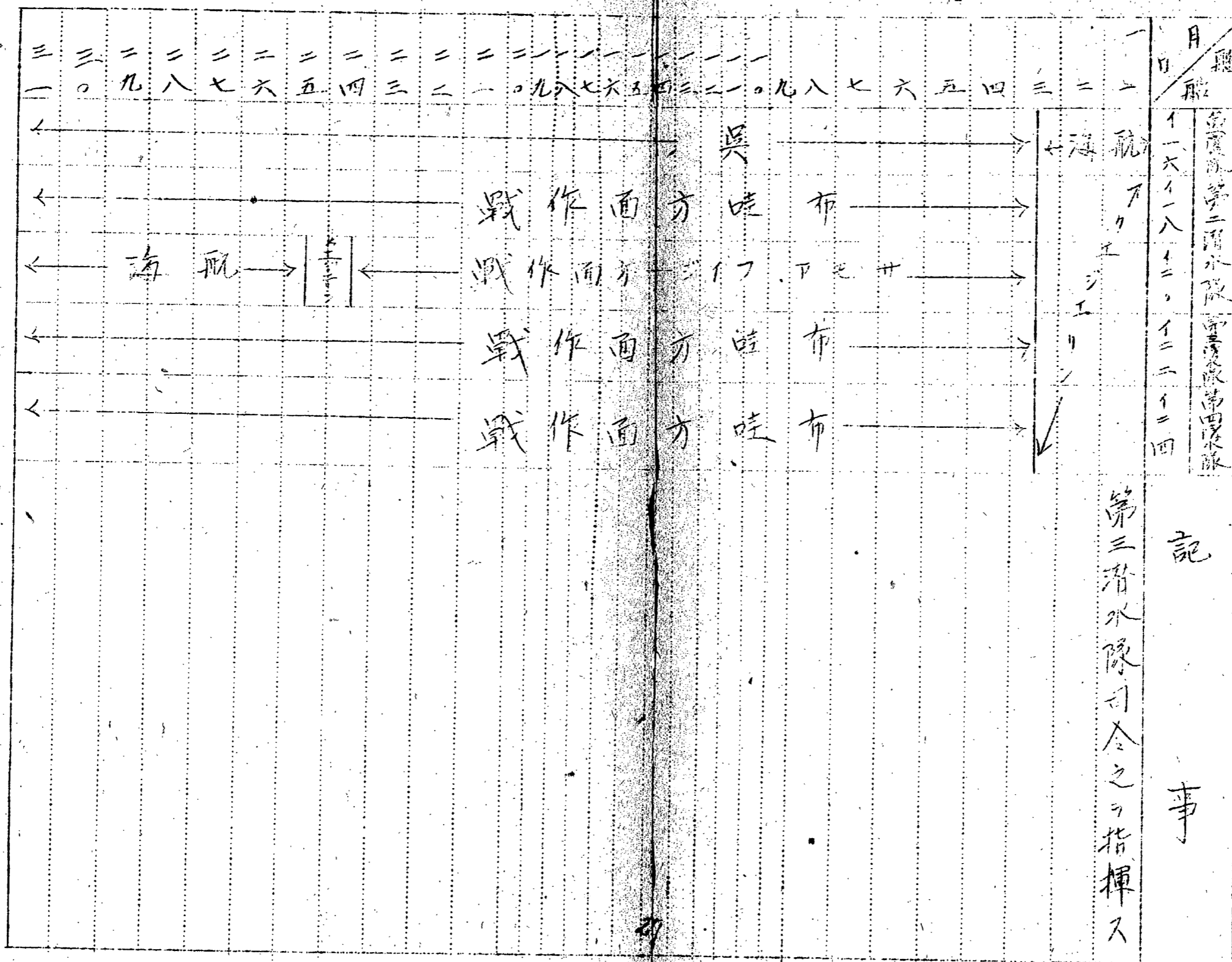
記 事



月 艦 (一) 艦
 日 艦
 一 艦
 二 艦
 三 艦
 四 艦
 五 艦
 六 艦
 七 艦
 八 艦
 九 艦
 一〇 艦
 一一 艦
 一二 艦
 一三 艦
 一四 艦
 一五 艦
 一六 艦
 一七 艦
 一八 艦
 一九 艦
 二〇 艦
 二一 艦
 二二 艦
 二三 艦
 二四 艦
 二五 艦
 二六 艦
 二七 艦
 二八 艦
 二九 艦
 三〇 艦
 三一 艦

艦隊行動 (第三潜水部隊)
 第一潜水隊 第十二潜水隊 第二十潜水隊
 一、七、四、五、五、六、八、九、七、七、一、七、二、七、三
 一、月、十、五、日、付、七、〇、潜、水
 艦、隊、出、動、終、了、リ
 除、カ、ル

記 事



(一) 麾下艦艇の行動(特別攻撃隊)

月 艦
 1 1
 2 1
 3 1
 4 1
 5 1
 6 1
 7 1
 8 1
 9 1
 10 1
 11 1
 12 1
 13 1
 14 1
 15 1
 16 1
 17 1
 18 1
 19 1
 20 1
 21 1
 22 1
 23 1
 24 1
 25 1
 26 1
 27 1
 28 1
 29 1
 30 1
 31 1

記 事

第三潜水隊司令之ヲ指揮ス